

新退教通信

No.171

2017. 3. 1

新潟県退職職員連絡協議会
Fax 025-281-8146

憲法改変(正か悪か)に思う



新退教副会長

岸 公平

47年5月施行後、まもなくおきてきた憲法を変えようとする動きは、憲法を無視したり、解釈を巧妙に変えることによって、国民の憲法意識の虚弱化や、なしくずしの実質改憲を凶ってきた。

62年大学に入学し、必須講座「日本国憲法」を担当教授に小林直樹著『日本国憲法』を奨められた。書物の「はじめに」に該当する部分に、某新聞社の「戯評」が載っていた。

5月3日「あととは三六四(さむし)です。」

「日本国憲法」

62年以前からの状況を示すものである。

この動きは、国内外の政治情況に左右されながら、一部民間団体の全国的活動も相ま

て時の政府自民党により進められてきた。自民党は野党時代、日本国憲法の代案を出した。予想通り、国民主権の軽視・平和主義の放棄、基本的人権に関わって「個の重視」から「公・公の秩序重視」へと転換し、人権尊重の形骸化を企画した。

最近目を通した書籍によると、日本国憲法の「本当の姿」を各種資料や文献を基に削ぎ出していくと、①占領軍が作って受け入れさせた。②中味(特に平和、人権事項)はとても素晴らしいものだ(当時の日本人には書けないほど)の2点だと言う。①を強調し、②を否定・変更しようとする安倍氏の右派と、②を高く評価し、①を否定してきた左派のせめぎ合いであった。集団的自衛権を解釈容認した今、米の侵略的戦争に日本が加担することは止められないかも知れない。それ故に憲法を書き換え、そういった行動ができないようにすることが今の日本にとって大切だろう。

「嘘をつく、騙す、脅す、強行採決をする」という策が得意な現政権の改憲攻撃が、更に激しくなると予想される中で、単なる反対でなく、憲法を更に良くする運動が望まれる。

50年来の友人から今年も年賀状が届いた。その一文に「元ドイツ大統領ワイツゼッカー氏の『過去に目を閉ざす者は現在に



(裂き織「春夏秋冬」 佐久間節子さん)

も盲目となる。』今の日本を表しているようだ」とあった。拙文を書こうとしている時、胸にくるものがあった。

目次

(敬称略)

1p 巻頭言

岸 公平

2p 支部からのたより

齊藤 剛、磯谷正芳、小林公一

3p 新教組旗開き(知事出席)

並木美紀子、中川 清

4p 組織対策委員会より

有田 好

5p 支部代表者会

がんばれ後輩 小松健二、本保真由美

6p 訪問 劇団「春」

江花 和郎

7.8p 講師募集(新潟日報)

会員の広場 外立信治、小幡晴美

健やかに老いる

効果的な脳トレのために

① できるだけになる過程を重視する

* できるだけになると脳活動は沈静化

② 面倒に感じることに挑戦する

③ 同じ作業でも心を込める↓効果大

④ 話す・理解に努める・笑い合う

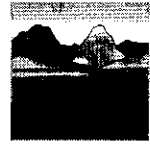
↓効果大

支部からのたより

ポスト真実の時代に

新潟支部幹事

齊藤 剛



4月1日新春詠、歌人永田和宏さんは、たあの大本営発表の時代を生きてきた。

「不時着と言いつ替へられて海さむし 言 新退教新潟支部は、毎年「2月11日」歴史の真実を学び伝える学習会を開く。今年、首相が「完全にコントロール」と

戻るオスプレイ墜落後」と、海底清掃する住民の声「サンゴや岩盤が傷つき、部 品は岩盤の下、ガラスの破片、とがった 農民を招き、真実を学ぶ。」

思いつくままに

糸魚川支部事務局長

磯谷 正芳



いう思いである。この問いは会員減、事業への参加者数の減少と関係があるのではないか。

ここまで書いて筆が止まっていたら、

暮れの12月22日、午前10時ころ発生した

糸魚川市街に信じられない光景が広がって

糸魚川市街に信じられない光景が広がっていた。全焼の会員3名。この大火にいち早く対応して頂いた県本部に心から感謝。そして、新退教の意味を今一度問い直し

直したり。そして、今思うのは、会員一人一人にとって、新退教って何だろうと

進化する支部活動

柏刈支部事務局長

小林 公一

当支部は賛助会員を含め400名弱の組織で、楽しく為になる活動を目指しています。

今年度は、新たに女性部の活動を立ち上げました。「体を動かしていつまでも若く元気でいるために」をテーマに

運動と茶話会を楽しみ、会員22名の参加で有意義な汗を流しました。

また、定例の活動として、グラウンド・ゴルフを月3回(毎週木曜日)に行っています。



毎回約2時間程度の運動で爽やかな汗を流しています。休憩時には楽しい会話を交えながら会員の情報交換の場にもなっています。

その他の活動として、年2回春と秋に「ふるさと探訪」と称して市内県内の伝統工芸技術の見学や名勝地を巡って研修を深めると共に温泉に浸り親睦を深めています。

マイ包丁作り

三南支部事業部長

並木 美紀子



7月1日に「三条鍛冶道場」を会場に「マ

イ包丁作り」を実施しました。講師は伝統工芸士の称号を持つ方の他3名でした。参加者からは「菜切り三徳包丁」と「イカ裂き包丁」のどちらかを選んで作ってもらいました。包丁を作る順番は、①材料を加熱して叩き

焼き入れをする ②砥石で研ぐ ③名前をタガネで入れた後、柄を付けて完成。

この研修の最後に、みんなで完成した包丁を披露し合い、互いの苦勞を振り返りました。自分で作った包丁は苦勞した分、愛着が湧くのを感じました。参加者は帰宅後、実際に包丁を使い、切れ味を確かめたことでしょう。

包丁作りの後、ペーパーナイフを作った方もいました。なお、個人で包丁を作りたい方は直接「三条鍛冶道場」(0256-3418080)へ申し込めば可能です。



会員数の維持に努めたい

西蒲・燕支部長

中川 清



我が支部は今年で結成40周年である。

会員数のピークは1998年の214名と記録にある。以降、毎年減少し、私が支部長を仰せつかった8年前は157名で、会員数の維持が最大の課題となっていた。

そこで、解決の方策を、①支部活動のさらなる活性化 ②現職への組織存在の周知 ③

新入会員勧誘方法の工夫、とした。

これまで、趣味の会の新設、管理職を含めた現職教職員への情宣、口コミや私信での入会勧誘など、支部役員と共に取り組んできた結果、大幅な減少はなんとか食い止め、近年は150名前後を維持している。

会員増を主な目的とした「賛助会員制度」が次期総会でも説明される。管理職とともに現職教職員に新退教の存在を一層アピールし、入会を働きかけていきたいと思っている。



1/7新教組「旗開き」

米山新知事も出席

来賓の米山隆一さんは挨拶で、

「教育現場の声を聞かせてもらう。給付型奨学金にも取り組みたい。」などと述べられた。教育に前向きな新知事に期待したい。

来 賓 (敬称略・日政連議員)

- 米山隆一 (県知事)、齋藤敏明 (連合新潟)、吉田裕史 (高教組)、長部登 (県議会議員)、西村智奈美 (衆議院議員)、黒岩宇洋 (〳)、菊田真紀子 (〳)、森裕子 (参議院議員)、青木学 (新潟市議)、竹内功 (〳)、石附幸子 (〳)、渡部良一 (新発田市議)、長谷川有里 (小千谷市議)、荒井眞理 (佐渡市議)、新退教2名 他27名

新退教の署名1739筆

教育をよくする県民会議は、「30人以下：請願署名」約9万筆を県議会に提出したが不採択。しかし、新潟市での同趣旨陳情は採択。

糸魚川大火被災会員に支援を

会員3名が全焼・1名が部分焼でした。支援カンパをお願いします。送り先は各支部です。(本部集計 ①3月末 ②6月末)



組織対策委員会より



組織対策委員長

有田 好

今年度2回組織対策委員会を行い、本部役員選考と組織拡充等について検討を重ねた。

本部役員の選考

来年度は役員改選年に当たっており、規約6条により総会において次の役員を選出することになっている。

会長 副会長(男2・女2)

事務局長 会計監査2

候補者の選考については、一地区に偏ることのないように、上越・中越・下越からバランスよく選考していただくように各支部長にお願いしているところである。

これまで女性の副会長は1名であったが、規約の改正により来年度から2名になる。

本部役員に女性が増えた方が、新退教の活動や組織運営に何かと利点が多いと思われる。

今後、本部幹事にも女性に入っていたくことが望まれる。

役員の選考については、本部も支部も大変苦労しているところである。新退教の発展のために、会員の皆様のご協力をお願いしたい。

組織の充実発展に向けて

新退教にとって課題の一つは、会員減に歯止めをかけ、いかに会員を増やしていくかということである。これまでも、本部・各支部で営々努力してきたところであるが、残念なことに顕著な効果は表れていない。そこで、新しく次のような取組を進めていきたい。

①各支部のすぐれた取組に学ぶ

「入会勧誘の取組状況」のアンケート調査を実施し、各支部の入会勧誘についてまとめることができた。勧誘文書だけでなく直接学校や家庭を訪問して効果をあげている支部がある。このような支部に学び、可能な限り取り組んでいただきたい。

②賛助会員制度の導入

これは全く新しい試みである。導入の目的は、組織拡大と財政確立である。賛助会員が、



退職後引き続き新退教に入会していただくことが期待できる。この制度が順調にいけば、新退教の将来に明るい展望が開けることになる。

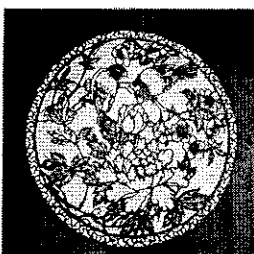
賛助会員としてお願いするのは、現職の校長・教頭等で新退教の趣旨に賛同して下さる方である。当面は本部役員が中心になって取り組みを進めていくことになるが、将来的には各支部の協力を得ながら全体的に進めていきたいものである。

③入会案内号の工夫

例年、新退教通信特別号「新退教加入のご案内」を発行し、退職者の勧誘を行っている。これまで以上に、読み易い特別号になるように工夫して作成する。

④財政の確立

年々会員が減少しており、新退教の財政は厳しくなっている。昨年度に引き続き行事等の見直しを図ってきている。来年度からは、女性交流会と研修会を一本化する方向で検討を行っている。

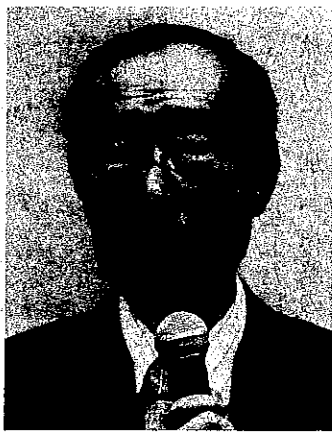


(切り絵 銭谷芳富さん)

日本の墮落を許さず、

誇りある日常を手に

日退教会長 西澤 清



日本はついに、「カジノと戦争」の国になろうとしています。「カジノと戦争」とは「博打と破壊・殺戮」のことで、今日本では「私営博打・破壊・殺戮」は犯罪です。日本は、憲法前文に書かれている「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しよう」と努めてある「国際社会」のメンバーから外れ、「名誉ある地位を占めたいと思ふ。」こともしなくなったと言えます。国家と政治の墮落です。

世界は激動が続いています。トランプ大統領誕生、朴槿恵大統領弾劾、「同盟」国で首長を巡って大きな変動がありました。また、北アフリカの「戦争」はますます拡大し、大勢の難民が溢れ出し、EUでは民族問題などの社会の矛盾が顕在化し、排外的な意識をむき出しにした「右翼」が台頭しています。しかし一方で、トランプに危機感を感じたりペラル派が歯止めを動き出しています。

右翼の台頭は、1970年代から続く新自由主義（グローバリズム）と一体で、その帰着するところと言えます。日本の動きは、こうした流れの中に位置付けられ、安倍政権になってから海外派兵などと共に一層加速されています。新自由主義はまた、中間層の破壊、貧困層の増加、格差の拡大を生み出し、国民は耐え難いところまで追い込まれています。昨年10月、黒田日銀総裁が敗北宣

「年金改革法案(年金額の支給抑制)」成立 支給減 賃金下落にも連動 「マクロ経済スライド」も強化

さる12月15日に終わった臨時国会で政府・自民党は十分な議論で国民の疑問に答えることなく、不安を残したままで、TPP法案、IR法案（カジノ法案）、そして前国会から継続になっていた年金改革法案を成立させました。

今回の年金改革法案は、「将来にわたって持続可能な年金制度を保つために」、①現役世代の平均賃金が下がった場合の支給額は、これまで物価が上がれば据え置かれていたが、新ルールでは賃金の下げ幅に連動して減る。物価も賃金も下がった場合には、下落幅が大きいほうに合わせて減る、②支給額が増える局面では「マクロ経済スライド」を強化する。名目支給額を低下させないのは同じだが、目減りさせなかった分は、まとめて物価が大幅に上がる景気回復期に増加幅の抑制に反映させる、というものです。安倍政権は、2017年への持越しを嫌い、「将来の年金がきちんと確保されるのか」という肝心の議論をかみ合わせることなく成立させました。

(具体的内容は次号、および次回事務局だよりで)

言をしたアベノミクスは、出口のないうまま大きな火車となって坂道を転げ落ちるでしょう。しかし、失策を認めず反省もない安倍政権は、大惨事を引き起こし、いじめ・差別など社会の構造を歪めた福島原発事故の後処理もしていません。その上、企業育成のためインドなどに原発輸出を続け、「もんじゅ」の反省もなく、核武装必要燃料のプルトニウムを生み出す高速増殖炉の検討が続いています。さらに、地方自治を圧殺し沖縄の米軍基地建設を強行し続け、日本の抱える矛盾の傷口を広げるでしょう。企業優遇・軍事拡大は社会保障・教育の切り下げにつながりま

す。その結果、高齢者・労働者の生活はますます苦しくなります。今年はそのような傷口の拡大を許すのか、押しとどめるのかという重大な年となります。特に、「教育」に対して新自由主義（民営化）の動きが加速しています。教育に関わった者として発言を強めていきたいと思います。「安心して暮らせる豊かな生活」実現と、憲法を生かした「誇りある国」にするため、私たちは、仲間を増やし現職と共に、従来にも増して「平和と生活」「自由と民主主義」「社会保障と教育」を守る運動にとりくんでいこうではありませんか。

以上

第3回東アジア海外研修旅行に参加をして

神奈川県藤沢市 山崎 公江

の教科書が使われており、現在の私は「藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会」に入り、ホームページの作成などを担当している。

育鵬社の教科書には「満州国の発展」という項が設けられ、「実質的に日本の支配下に置かれた満州国では、政治や経済の整備が進められ、日本企業が進出して重工業が発展し、日本の



侵華日軍七三一部隊遺址

「中国に対する日本の侵略を学ぶ」をテーマにした四泊五日の旅に参加し、侵略の事実が自分あまりに無知であったことに気付き、愕然とした。とくに、1932年9月16日の平頂山虐殺事件については事件のアウトラインさえも承知しておらず、800体の遺骨を目にしたときは、涙が止まらなかつた。赤ん坊や子どもを抱きしめたまま遺骨になった人々たちを、侵略者の子孫である日本人は見なければ中国の人と交流できないと思つた。

私の住む神奈川県藤沢市では、中学の歴史・公民分野で育鵬社



黒竜江省社会科学院の皆さんと参加者

多くの農民も開拓民として入植しました。人口も増加し続けた土地で現地の人々を虐殺したこと、満蒙開拓団の人々が敗戦直後に逃げ惑ったこと、中国の人々が満州に遺棄された子どもたちを育ててくれたことなど何も書かれていない。

21世紀に入り、日本社会の右傾化は止まらない。1997年1月に「新しい歴史教科書をつくる会」が誕生したとき、これは相当まずい事態と思ひ、このような動きに反対する女たちの緊急アピール運動に参加したが、あの侵略戦争さえもアジアの解放に役立ったと書きたてて、日本は正しかったと主張する教科書が実際に使われる事態となっている。歴史を直視しないで諸外国との友好は図れるのだろうか？南京事件も知らない、731部隊の細菌戦も知らない日本人が中国人と付き合えるのだろうか？

今回の旅行に参加して、私の退職後活動として始めた「藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会」の活動に真剣に取り組み、地域の若者たちに本当のことを語る活動を始めなくてはならないと強く感じている。

◆編集後記◆

2016年8月、私が参加した現職組合東部地域教研の講師である福島県教組郡山支部元書記長が持参された資料の中に、「3・11」で発生した福島第一原発事故の「時系列表」がありました。それによると、大地震発生後14時46分から1分後、稼働中の全原子炉が「自動停止」、15時37分、原発全体が「電源喪失」となっています。これは、「想定外の大津波」で「自家発電装置」が停止し「原子炉冷却装置」が「稼働不能」という事故直後の「公表」は「虚偽」ではなかったのか、ということになります。実際は、津波以前に「原発稼働用電源」である変電所が地震によって破壊されてしまったのです。

もともと、原子炉設置場所は「冷却用海水汲み上げの必要」から高さを海面に近づけるため、30メートルほど掘り下げられています。これが「地下水問題」の一要因にもなっています。そして、谷状の低地を埋め立てた軟弱な地盤の上に「変電所」を設置したため、地震の振動で機能停止になったと考えられます。この「危険性」を指摘した学者もいたと聞いています。結局、「安全性無視の原発立地」自体が重大事故を生み、「安全神話」により事故発生を想定した対応策が皆無であったことが、事故の収拾を一層困難にする事態を生むことになったと言えます。

(し)

支部代表者会 & 教育問題懇談会



昨年の12月7日、新

教組会館で、恒例の支

部代表者会（午前）&

新教組との懇談会（午

後）が開かれた。

支部代表者会

議長は上越支部の相馬久弥さんで、内容は左の通り。



1 行事・会計・署名等の中間報告

2 組織対策委員会の中間報告（有田好さん）

・本部役員候補の選出方法

・組織上の問題…本部行事、組織拡大

3 本部からの提案

a 賛助会員制度 b 旅費なし行事

c 入会案内号の改訂

「質疑・討論から」

☆新退教本部の女性副会長2名選出は厳しい。しかし、女性が大いに活躍できる新退教に

ならなければならぬ。頑張ってみよう。

☆賛同する現職（校長・教頭等）から賛助

会員になってもらう制度は、集金等難しい問題がある。↓支部に負担をかけず、

本部役員の可能な範囲で取り組む。

現職と教育問題懇談会

新教組からは、木村博委員長、石津真澄・

本保真由美両執行委員が出席。3人からた

くさん学ばせていただき、感謝！

○昨年度末の新教組組織率 78.9%

○12月県議会に「30人以下…請願署名（約

8万筆）を提出し、口頭陳述を行った。

○「全国学力・学習状況調査」では過剰な

事前指導が行われている。文科省は事前

対策を行わないよう通知はしたものの、

悉皆調査にこだわっている。

Q 「30人以下学級実現…」の署名、少子化

で30人以下学級が実現している地域がかなりある。署名タイトルの見直しが必要？

署名集約方法として返信用封筒の配布は？（署名を重視するなら予算増を）

A 大切な視点と意見をいただいた。新教組

に持ち帰り検討したい。

がんばれ後輩！



執行委員

小松健二

（県央支部旭小分会）

（田上町 在住）

こんにちは 新教組です



執行委員

本保真由美

（下越支部猿橋小分会）

（新発田市 在住）

小・中学校教諭の7/8割が、週60時間超勤務である実態が「連合総研」の調査で明らかになりました。

新教組は今後、勤務時間の記録（12月1日より開始）をもとにした多忙化解消の具体策を求めていきます。

がんばれ新教組！

訪問 北新支部の認知症介護劇団「春」

「ハルばあちゃん」の家族たち

昨年の12/9（金）、新発田市中俵ふれあいセンターで、ポランティア劇団「春」による認知症介護劇があった。



今回の公演は新発田市からの要請によるもので、会場のふれあいセンターは平屋建ての民家風建物だった。畳広間半分ほどが観客席で地域のお年寄りが15人ほど、そして、残り半分が舞台。畳の上でも公演できるように、舞台セットが工夫されていて感嘆！

いよいよ開演。

第一景 ハルばあちゃんの家の朝

第二景 近所の人たちとの会話

その日の夕方、家族の会話

第三景 ある日の午後の徘徊

第四景 家族の葛藤〜真実の叫び〜

配役・スタッフ

ハルばあちゃん (78才)

五十嵐順子

長男昭一 (50才) 会社員

渡辺ユキ子

昭一の嫁・道子 (45才)

赤松 範子

孫のミキ (15才) 中学生 中村 洋子

近くに住む小姑・洋子 (長女) 諏訪 俊子

本家のおつか様 大橋 敏江

ナレーター 古田セツ子

黒子 新保 洋子

記録 岡村 京子

このサークルは劇団二つから成る。一つは認知症介護劇団「春」。もう一つは「あおぞら劇団」で、演目は「したきりすずめ」。もともとは平成19年に「あおぞら劇団」で出発したが、平成22年に新発田市からの依頼を受け、劇団「春」が誕生した。

公演依頼があれば、①いつでも②どこへでも③ポランティア（旅費等も一切不要）で県内各地へ出向き、遠い上越市でも公演している。会場は広くても狭くてもOK。

「旅費ぐらいいただいたらどうですか」とお聞きしたら、

「いいえ、呼んでくださるから稽古するし、楽しめるし、今までのご恩返しです。」

とのこと。敬服。温かい豊かな心になって帰路に就いた。 (文責 山岸 修)

・四月に五泉市民会館で公演 (日時未定)

・劇団連絡先 古田セツ子 TEL 0254-248689

安心・安全・健全こそ……



新潟県労働金庫

理事長 江花 和郎

新退教の皆様、こんにちは。新潟県労働金庫は1952（昭和27）年、まだ銀行が労働者にお金を貸してくれない時代、労働組合の出資で設立され、その運動によって、今日では預金残高7800億円、県内4番目の金融機関にまでなりました。

新退教の皆様からは、現役時代も含め長年にわたって労働金庫をご利用いただき、ありがとうございます。

昨年「年金友の会」を改組して「新潟ろうきんシニア倶楽部」を設立し、退職者への情報提供や高齢者層のニーズに応える活動を充実させております。

先行き不透明な社会経済状況の中で、「安心・安全」が一番です。「非営利」の協同組織金融機関「新潟ろうきん」はこれからも皆様のお役に立ちたいと思っています。

カルチャースクール講師募集

新潟日報社では、県内5か所（新潟市2教室、三条、長岡、上越）でカルチャースクー
ルを開設し、5300人が受講しています。

この度、新しい講座「学び ふたたび」（仮
称）の開講を予定しています（7月）。中学
1〜3年程度の各教科を、懐かしさに触れな
がら改めて学び直すとともに、脳の活性化を
図る講座に…と考えています。

経験豊富な退職先生方を講師にお迎えした
く、もしご協力いただけるようでしたら、左
記へご一報をお願い致します。（詳細はご相談
メ 切4月30日）

■ 申込先 新潟日報カルチャースクール本部
担当 外山 TEL (025) 385-7338
E-mail / yo-yoyama@nigata-nippo.co.jp

会員の広場

オカリナに魅せられて

外立 信治（上越）



オカリナ教室に通い始めて3年、少しは吹
けるようになり、練習が楽しくなってきた。
オカリナは、吹き方や気温によって音程や
音質が変わるとてもデリケートな楽器だが、
音色が優しく、ポケットに入りどこでも吹け

るのも魅力だ。演奏会が近づく、家族や遊
びに来た友達に無理やり聞いてもらい、人前
で演奏する度胸を付けるようにしている。
もともと上手くなったら、老人ホームなどで
演奏できればと考えているこの頃である。

私のこのごろ

小幡 晴美（中越）

「苦しい。もう絶対に登らないぞ」
とフラフラしながら登り、下山するとすぐに
次の山の相談が始まる山登り。

「台詞が覚えられない。下手。もうダメ」
と、落ち込みながらやめられない人形劇や昔
話かたりのボランティア：等々。

しかし、仲間との関わりによる居心地のよ
さやアンチエイジングの効果（？）がうれし
い。

退職して十年。毎日が結構忙しい。そして、
その忙しさを結構楽しんでこの頃です。

雪が降る

冬子（下越）

大雪の今年、雪掻きは疲れる。雪道の運転
には気を遣う。それでも、雪国生まれの私は
雪が好き。泡雪、牡丹雪、粉雪…。それぞれ
風情がある。冷たい雪なのに、降る雪に見入
っているうち心が温かくなってくる。

吹雪く道角巻の母来るよう
で
アルバムを生家の屋根が真白い
一本の雪道どうぞ譲り合おう
綿帽子上手に被る墓標たち
名残り雪帰りたくない雪女



集団的先制攻撃権？

専守防衛（下越）

諏訪哲史氏の「うたかたの日々」（毎日夫
人678号）は分かりやすかった。

「A国がミサイルを撃つ構えを示したため、
B国と協力し発射基地を先制攻撃した。落命
したA国人数十名の冥福は祈るものの、自衛
の処置ゆえ致しかたなく、我が国に非は一切
ない」。例えば「自衛」とはそんな大量虐
殺罪の、都合のよい言い逃れにも使われうる。
つまり、**集団的自衛権とは集団的先制攻撃権**
でもあり…略…。自衛隊員を死傷者にも殺人
者にもしてはならない。」その通りだ！



裂き織 「飛天」 佐久間節子さん

「募ります」 ※当欄のご利用を

「譲ってください・譲ります」 (誰でも掲載可)

☆麻雀関係を寄付できる方、新退教までご一報ください。(健康麻雀)開設準備。長岡支部の鎌田計二さん卓寄付。深謝)

【ミニ情報】



◆会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」(0256-77-2013開館土日月祝)、4/1~24 「渡辺久意・佐藤美紀展」、5/13~28 「金子朗子きりえ展」(友男)

◆新潟市北区豊栄図書館のすぐ隣にある、会員佐藤ヒデさんのギャラリー。入口には優しい「いっふくしませんか」の看板。室内には和紙人形など手作り作品が多数。

◆北新支部主催「アクセサリ講習会」が3/31(金)9:30~15:30、新教組下越支部会館で開催。講師は裂き織名人の佐久間節子さん。申込は3/27までに0254-22-2065へ。

◆新潟市子ども創造センター、ボランティア募集中。内容:造形活動や創造的遊びの支

援等、応募TEL025-281-3715へ。

◆糸魚川市のフォッサマグナミュージアム等の研究グループは、県内最古の放散虫化石を発見。



◆佐渡市で農業を営む斎藤真一郎さんの「トキと共に持続可能な農業へ」が、2016「毎日農業記録賞」一般部門で最優秀賞。

◆上越市安塚区の岩崎欣一さん、昨年5月に刑務所出所者の自立を目指す「日常塾」を発足。(検索「農村生活日常塾」)

◆法務省では刑務所での教科指導者を募集している。詳細は「生きがいネット」内「退職教職員のボランティア活動」参照。

○ある調査で最期の言葉で多いのは「ありがとう」「許してね」「許します」「愛しています」「さようなら」(誰がいるかにもよる)

○フランスの歴史人口学者トッド氏、「日本が直面している最大の課題は人口減少と老化。意識革命をして出生率を高めない」と30~40年後に突然災いがやってくる。「親に対する子供の負担、子供に対する親の負担があまりにも大きい」(2017/1/8毎日新聞)

*世界経済フォーラムが昨年10/26に発表した男女平等ランキングで日本は前年の101位から111位に後退。経済と政治の分野で厳しい評価を受けている。

*退職者連合も参加している「全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会」は、2015年12月15日、同法成立への抗議と同法廃止に向けての決意を声明として発表した。

「新退教一坪市場」出店募集

◆5月26日(金)新退教総会当日、新退教会館2F ◆販売物:会員の作品・生産物(除く生鮮物) ◆出店時間:A10:00~10:30 B11:30~14:00 (A・H・Bいずれも可) ◆募集約10店(超過なら抽選) ◆出店料:売上5%(上限千円) ◆申込:氏名・支部・TEL・販売物・出店時間(第3希望まで)を明記し、葉書かEメールで新退教本部へ。〆切4月末 TEL・FAX 025(281)8146

編集後記



2/3~5、日教組全国教研が新潟市で49年ぶりに開催されました。新教組の取組・準備は素晴らしいものでした。後輩たちの活躍は誇りです。後輩に乾杯! (山岸)